

内閣 官房長官 表彰

福岡県田川郡大任町立大任小学校

所在地：福岡県田川郡大任町大任3040番地

大任（おおとう）小学校で講評は、「総合的な学習の時間」の試行的な取り組みとして、平成13年度から学年ごとに交流活動等を開始したところであるが、5年生については、地元の精神障害者通所授産施設と交流を行っている。草取りや芋掘りなど、年に3～4回の交流のほか、手紙のやりとりや運動会への招待、参加などの形で継続的に交流が続いている。準備を進める過程で、大阪府の池田小学校での児童殺傷事件が起き、一時は交流を危ぶむ声も出たが、児童との交流に先立ち教員と施設職員や利用者との交流会を行い、教員の精神障害についての理解を深めた。また2年度目からは、PTAからの参加も得ている。

交流開始以降、下校途中や町中で出会うと気軽に声を掛け、あるいは町の文化祭やマラソン大会などでも会話が弾むなど、児童はもちろん、町の人びとの精神障害に対する理解も進み、また教師の間でも、「自分たちのやっていることに責任を持とう」、「教えるだけでなく、知らないことは学ぼう」という声が出てきている。さらにこの取り組みは、総合学習の事例として町の校長会において報告されるとともに、福祉関係者の地域のブロック研修会においても事例報告されただけでなく、報道等を通じて全国に紹介されるなど、精神障害に対する理解を広げている。



芋ほり



のぞみの里との交流 ～芋ほり作業を終えて～（平成13年度）

内閣 官房長官 表彰

村山輝子

所在地：千葉県習志野市鷺沼2-14-2

村山さん（日本オストミー協会副会長）は、オストメイト（人工肛門・人工膀胱を保有する者）の障害に対して社会的に配慮がされていないのは、一般には公表したくない障害であることから閉鎖的、内向的になり、社会に対し何の訴えもしなかったためであり、もっとオストメイトの生活バリアを社会に訴え、理解を得るよう努めるべきであるとの考えから、オストメイトであることを自ら公表して千葉県内の駅前でキャンペーン活動を行い、生活環境整備について社会の理解を求め、オストメイトが安心して外出できるよう「オストメイト対応トイレ」の必要性を強く訴え、バリアフリー社会の実現に努めてきた。

これらの活動の結果、習志野市役所に全国最初のオストメイト対応トイレが設置され、また千葉県庁及び県議会棟にオストメイト対応トイレが設置された。その後、オストメイト対応トイレは、いわゆる交通バリアフリー法の新ガイドラインやハートビル法の建築設計標準に取り入れられるなど、その全国的な普及に尽力している。



キャンペーン活動



オストメイト対応トイレ（全国公共施設初、習志野市役所）